

たきかわ「^わ環のまち」物語

年 次 報 告 書

(平成26年度評価版)

滝 川 市

◇たきかわ「^わ環のまち」物語 年次報告書とは…

滝川市では「たきかわ「環のまち」物語～滝川市環境基本計画・地域行動計画～」(以下、「環境基本計画」という。)という環境に関する計画を平成 18 年 3 月に策定(平成 23 年 3 月に改訂)しました。環境基本計画では、滝川市では環境においてどのような取組が行われているか、また実際にはどこまで成果が上がっているのかなどを、毎年、検証することにも取り決めています。この報告書はその一環として前年度の状況などをとりまとめて、皆さんにご報告するためのものです。

「たきかわ「環のまち」物語 ～滝川市環境基本計画・地域行動計画～」とは

ひとくちに環境といっても、様々な切り口がありますが、この計画では次の 4 つの視点(ここでは「物語」と呼んでいます。)から目指すべき将来の姿を描いた上で、それぞれにおいて達成すべき数値目標などを設定しています。

1 資源の環(わ) 循環 物語

廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進します。

2 創エネ・省エネ 物語

エネルギーの消費抑制、再生可能エネルギーの利活用を推進します。

3 農・山・川 物語

豊かな自然環境、農業にふれあい、育む活動を推進します。

4 人の環づくり 物語

環境づくりを担う人材育成とネットワークづくりを推進します。

計画では次のとおり具体的な数値目標を設定しています。

項 目	目標値	備 考
市民 1 人・1 日当たりのごみ排出量(家庭系)	470g	—
リサイクル率	30.0%	—
省エネモニターの CO ₂ 削減量	前年比 平均 1 %減	—
滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量	原単位で 1 %削減	—
農業体験授業(事業)実施校数	40 校	H23～27 の累計
石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数	7,700 本	H18～27 の累計
環境学習リーダーの人数	200 人	H18～27 の累計
環境市民大会の参加者数	100 人	1 開催につき
環境関連イベントにおける参加者の平均評価点	年平均 85 点以上	満点を 100 点とする。

※平成 23 年 3 月の改訂により数値目標が一部修正されています

(1) 資源の環（わ） 循環 物語

1 平成26年度における数値目標の達成状況について

市民1人・1日当たりのごみ排出量（家庭系）

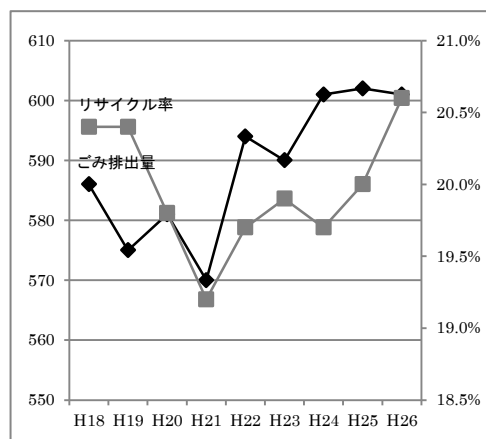
目標値（平成27年度時点） 470 g /人・日

実績値（平成26年度） 601 g /人・日

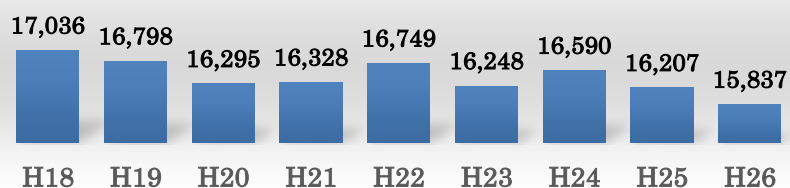
リサイクル率

目標値（平成27年度時点） 30.0%

実績値（平成26年度） 20.6%



滝川市全体ごみ量（単位 t）



区分		単位	26 年度	25 年度
収集人口 ①		人	41,589	41,988
収集世帯		世帯	21,305	21,298
家庭系	生ごみ	トン	1,873	2,002
	燃やせるごみ	トン	5,184	5,531
	燃やせないごみ	トン	553	710
	粗大ごみ	トン	903	985
	資源ごみ	トン	610	473
	計 ②	トン	9,123	9,701
事業系	生ごみ	トン	1,769	1,829
	燃やせるごみ	トン	2,591	2,599
	燃やせないごみ	トン	119	126
	粗大ごみ	トン	311	298
	資源ごみ	トン	158	163
	計 ③	トン	4,948	5,015
資源化量 (資源回収以外)	燃やせないごみ・粗大ごみより回収	トン	576	655
	生ごみより回収	トン	143	150
	資源ごみより回収	トン	775	654
	計 ④	トン	1,494	1,459

資源回収	拠点回収	トン	38	40
	集団資源回収	トン	1,728	1,748
	資源回収の合計 ⑤	トン	1,766	1,788
合計 ⑥ (②+③+④)		トン	15,837	16,207
埋立処分量		トン	1,392	1,548
●リサイクル率 (④+⑤) / ⑥		%	20.6	20.0
●市民1人・1日当たりのごみ排出量 (家庭系)		g	601	602

表1 一般廃棄物の収集内訳等

●印は数値目標項目



リサイクル率・市民1人・1日当たりのごみ排出量（家庭系）は、ほぼ横ばいの結果となっていました。全体のごみ量は、減少傾向にあります。平成24年に実施したごみの組成調査の結果で最も多くごみとして排出されていた「雑がみ」の無料回収を本年度よりスタートしたことなどから、リサイクル率が0.6%アップしています。

2 平成26年度における主な取組について

(1) 資源ごみ（古紙類）の分別収集品目の拡大

平成23年9月に行ったごみの組成調査で、家庭から出される燃やせるごみのうち、約40%が紙類となりました。このうちの約半分程度を古紙として資源にすると、大きな資源化を進めることができ、ごみ処理手数料の改定による負担軽減も可能と考え、平成26年4月から、「雑がみ」を資源ごみに加えることとしました。



(2) 集団資源回収事業

町内会をはじめとした各種団体において、資源の回収を奨励し、回収された資源の量に応じて、奨励金を交付するものです。

- ・実施団体数 303 団体（前期 148 団体、後期 155 団体）
- ・補助金交付額 約 345 万円（前期 167 万円、後期 178 万円）

単位：t

		26 年度	25 年度
区 分	紙パック	5	5
	紙 類	1,364	1,394
	びん類	169	163
	金属類 (スチール缶、アルミ缶、その他金属)	98	96
	ペットボトル	91	91
	その他	1	1
	計	1,728	1,750

表 2 集団資源回収の回収内訳

(3)カレンダーリサイクル事業

年末年始に個人や事業所等で受け取るカレンダーや手帳などのうち、自ら使用する見込みのないものを提供していただき、これらを滝川市まちづくりセンターにて展示し、希望者に対してその場でお渡ししました。期間中に約 1,713 点（カレンダー1,630 点、手帳 83 点）が新たな持ち主に引き取られ、有効活用が図られることとなりました。

(4)滝川市リサイクルフェアの開催

市内でも屈指の規模のフリーマーケットが展開される滝川市リサイクルフェアは、今回も空知自動車学校様の御協力をいただき、同校教習コースで開催される「そらち WaiWai フェスタ」との合同イベントとして実施しました。

当日は、フリーマーケット以外にも古着の回収（協力：株式会社キョクサン）や小型電子機器の無料回収、生ごみ肥料の即時販売なども併せて行われたほか、昨年度と同様、北海道庁経済部産業振興局とタイアップし、PHEV（プラグインハイブリッド電気自動車）を活用した給電デモンストレーションや、中空知衛生施設組合“リサイクリン”で発生するバイオガスを利用して、インスタントコーヒーの無料提供を行いました。

開催日	9 月 20 日（土）
入場者数	3,000 人（抽選券配布枚数から推計）
フリーマーケット 出店区画数	76 区画



※資源回収量

古着	300kg
廃食用油	10L
小型家電	300kg
古紙	1 kg
美 o la	60 袋（→予定数完売）



(5)リユースショップ情報発信事業

資源の有効利用やごみの減量化を推進するための取組の一環として、製品等の再利用（リユース）の円滑化を図るべく、市内で古物営業を営む事業者店舗の情報を集約し「滝川市リユースショップ一覧表」として情報提供を行っています。

- ・情報発信依頼店舗数 6 店舗

(6)古着・古繊維の拠点回収について

ごみの減量化やリサイクル率の向上を目的として、ご家庭で不要となった古着・古繊維の拠点回収を滝川市役所と旧粗大ごみ処理センター(中島町 210)で行っています。

平成 26 年度の回収量は約 8.5 トンで、前年度の約 1.8 トンから大幅に回収量が増加しました。

(7) 小型電子・電気機器の拠点回収について

ごみの減量化やリサイクル率の向上を目的として、ご家庭で不要となった小型電子・電気機器の拠点回収を滝川市役所と江部乙支所、まちづくりセンターで行っています。

平成 26 年度の回収量は約 36.6 トンで、前年度の約 16.2 トンから大幅に回収量が増加しました。

(8)滝川市フリーマーケット情報交流事業

滝川市内で開催されるフリーマーケットの情報を市が滝川市公式ホームページや電子メールを通じて P R し、フリーマーケットの活性化を支援する取組です。電子メールでの情報は市内外を問わず予めアドレスを登録していただいた方に対して随時、送信します。

- ・ 発信したフリーマーケット開催情報の件数 3 件

滝川市フリマ開催情報が携帯電話からご覧いただけます。



ここからアクセス！

Q R コードが読み込めるカメラ付き携帯電話で、市内で開催されるフリマ情報がご覧いただけます。

また、市役所くらし支援課のホームページから、開催情報の発信依頼や情報受信登録ができますので、ご利用ください。

(2) 創エネ・省エネ 物語

1 平成 26 年度における数値目標の達成状況について

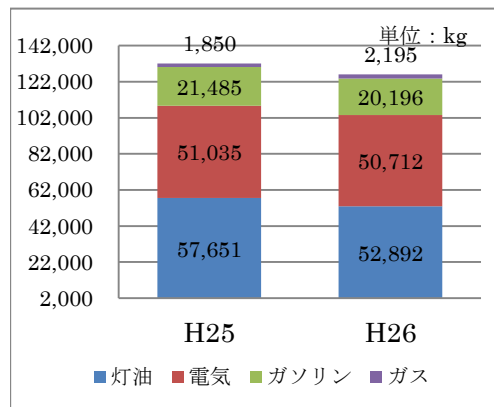
省エネモニターのCO₂削減量※1

目標値（平成 27 年度時点） 前年比で平均 1 %削減

実績値（平成 26 年度） 前年比 3.3 %減

※1 平成 26 年度の CO₂ 排出係数が現段階で環境省から公表されていないため、平成 25 年度の排出係数（0.681CO₂/kWh）で算定しています。

☆モニター世帯における二酸化炭素排出量の推移について（前年データのない世帯は除外）



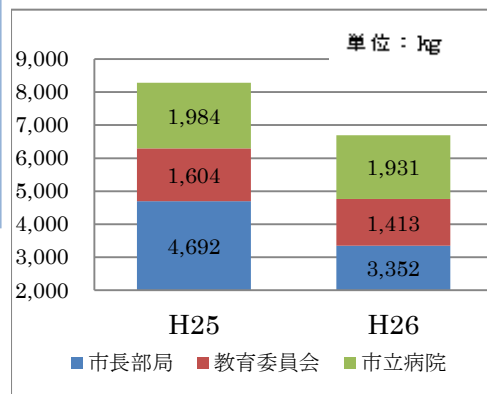
滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量※2

目標値（期間中平均） 原単位で年平均 1 %削減

実績値（平成 26 年度） 前年比 23.7 % 減

※2 ここでの原単位とは施設の延床面積当たりのエネルギー消費量としています。

☆滝川市の公共施設エネルギー消費量
（1 年間に消費したエネルギー量を原油量に換算）



昨年に引き続き、目標を達成することができました。滝川市の公共施設のエネルギー消費量の減は、福祉センターの廃止や福祉施設の譲渡によるものです。

2 平成 26 年度の主な取組等について

(1) 省エネモニターの実施

- ・ 内容：各家庭で生活のなかでのエネルギー消費を意識していただきながら、具体的に省エネルギーにいかに取り組むべきかを考えていただけるよう、一般市民を対象に省エネモニターを実施しました。また、平成 23 年度より、灯油、ガス、ガソリンも調査項目として追加しました。
- ・ 目標：計画当初、国が推進する「チームマイナス 6 %」の目標に準じ 6 %削減を掲げスタートしましたが、継続的に取り組むモニター家庭にとっては年数を経るにつれて現実的に達成が困難であることから省エネ法の努力目標として設定されている年平均 1 %削減に準じることとしています。
- ・ 参加世帯数：49 世帯
- ・ モニター対象期間：平成 26 年 8 月～平成 27 年 2 月分
- ・ 対象エネルギー：電気、ガス、灯油、ガソリン

(2) 滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量について

滝川市が管理する公共施設全体で1年間に消費したエネルギー量は原油の量に換算すると6,696キロリットルになります。

数値目標にもある滝川市の公共施設の延床面積当たりの原単位エネルギー消費量では、昨年度と比較し23.7%減少することができました。

(3) 公共施設における使用済み食用油の燃料利用

市内公共施設（中央児童センター）に廃食用油を燃料として利用する専用のボイラーを平成23年度に設置し、学校給食調理で使用した油のほか、市内事業所、家庭から排出された油を燃料として利用しています。

平成26年度においては平成18年度～平成22年度までの5年間の平均重油使用量（約40,000L）と比較して約25,000L程度の重油を削減することができました。

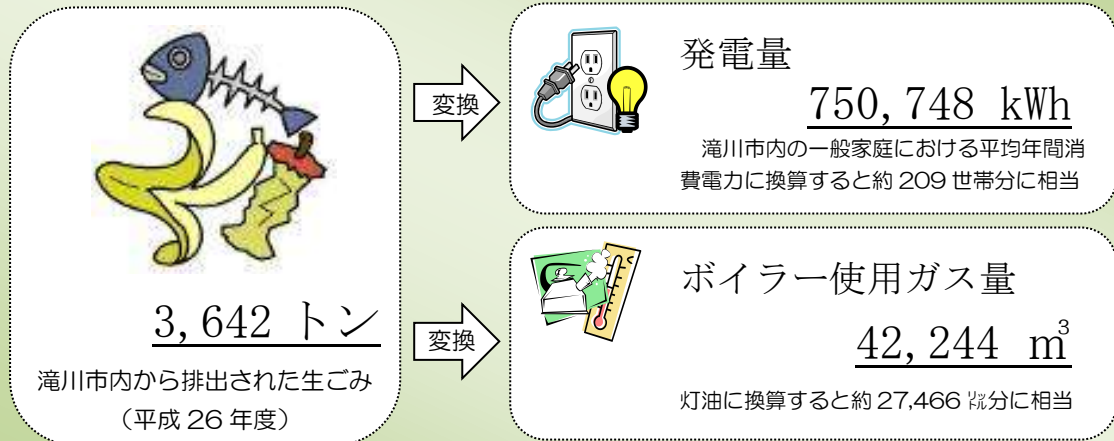


(4) バイオマスのエネルギー利用

① 生ごみのエネルギー利用

東滝川にある中空知衛生施設組合リサイクリン（滝川市のほか赤平市、芦別市、雨竜町、新十津川町と共同で運営）では、各市町で分別回収された生ごみ（一般廃棄物）から、メタンガスというエネルギーを取り出しています。メタンガスは発電機やボイラーの燃料として供給され、電力や熱に変換され施設の運営等に活用されています。

◆リサイクリンで生ごみから生み出された電力と熱



※それぞれ、施設全体の発電量及びボイラー使用ガス量に滝川市の生ごみ排出割合(60.1%)を乗じた値です。

図1 生ごみからのエネルギー回収イメージ

② 下水道汚泥のエネルギー利用

滝川市の下水道は石狩川流域下水道(北海道及び6市4町により運営)に接続されており、奈井江町内にある下水道処理施設(奈井江管理センター)に送られ浄化されます。そこでは、浄化処理の過程で有機物からメタンガスを取り出し、生ごみ処理と同様、得られたガスを電力や熱に変換して利用しています。

	施設全体	滝川市分
I 汚泥処理量 (トン)	3,400	1,400
II 消化ガス発生量 (m³)	1,345,000	551,000

Ⅲ 消化ガス使用量 (m³) →消化ガス発電等として利用	1,070,000	439,000
Ⅳ 発電量(kWh)	1,546,000	634,000

※発電量：滝川市内の一般家庭における平均年間消費電力に換算すると約 176 世帯分に相当

表 3 下水道汚泥の発生量及びエネルギー回収等について

※Ⅱ～Ⅳの滝川市分は下水処理量の割合から案分した値です。

③ 可燃ごみ焼却によるエネルギー利用

滝川市の可燃ごみは、中・北空知廃棄物処理広域連合（5市9町により組織）が設置、管理及び運営している、歌志内市にある一般廃棄物焼却処理施設（中・北空知エネクリーン）に搬入、処理されます。施設はエネルギー回収推進施設として、ごみを焼却したときに出る熱を利用して蒸気タービンで発電しています。発電した電気は、施設内で使われ、余った電気は売却し、有効活用しています。

	施設全体	滝川市分
Ⅰ 可燃ごみ搬入量 (トン)	23,809	8,695
Ⅱ 可燃ごみ焼却量 (トン)	22,874	8,354
Ⅲ 発電量 (kWh) →売電 (kWh)	11,448,147 →7,076,915	4,180,990 →2,584,568

※発電量：滝川市内の一般家庭における平均年間消費電力に換算すると約 1,161 世帯分に相当

表 4 可燃ごみの発生量及びエネルギー回収等について

※Ⅱ・Ⅲの滝川市分は、Ⅰの割合から案分した値です。

(5) 滝川市住宅用太陽光発電導入支援補助金の運用

既存および新築の住宅に新たに太陽光発電を設置する方に活用していただける補助制度を運用しています。

平成 26 年度の交付実績について

設置件数	1 件
助成額	104,000 円
設置 KW 数	(合計) 約 5.2kW



(6) メガソーラー発電設備設置に向けた誘致活動の取組内容について

① 1 基目

- ・所在 滝の川町西 5 丁目及び 6 丁目、3.9 ヘクタール（市営住宅跡地）
- ・発電開始 平成 25 年 8 月
- ・出力規模等 1,900kw（パネルベース）、架台高 1.8m、パネル角度 35°

② 2 基目

- ・所在 中島町 2 丁目、2.6 ヘクタール（せせらぎ団地未分譲地）
- ・発電開始 平成 26 年 7 月
- ・出力規模等 1,200kw（パネルベース）架台高 2.0m、パネル角度 35°

③ 3基目（着工中）

- ・所在 中央工業団地 2.3 ヘクタール・流通工業団地 1.4 ヘクタール
- ・着工時期 平成 27 年 5 月、発電開始は同年 11 月を予定
- ・出力規模等 2,250kw（パネルベース）、架台高 1.8m、パネル角度 35°

④ 4基目（計画中）

- ・所在 東滝川 1.6 ヘクタール（旧滝川市立東栄小学校跡地）
- ・着工時期 平成 27 年 8 月（予定）
- ・出力規模等 636kw（パネルベース）架台高 1.7m、パネル角度 35°

(7)滝川ふれ愛の里への再生可能エネルギー設備導入について

「滝川ふれ愛の里」は、地域住民を中心に年間延べ 27 万人に利用されている温泉施設ですが、防災計画、避難所に指定されており、災害急性期には多くの利用者や地域住民の避難が想定されます。

このような中、災害時に電力が遮断された場合でも、最低限の照明や給湯を自立して賄うことを目的に、「太陽光発電」、「小型風力発電」、「太陽熱温水器」、「蓄電池」など再生可能エネルギー設備を導入しました。

- ・導入設備 太陽光発電 12kw
- 小型風力発電 15kw（5kw×3 基）
- 太陽熱利用設備 集熱器 40 m²、蓄熱タンク 2,300L

(8)市内公共施設における太陽光発電設備のデータの公表

平成 22 年度に設置した滝川市役所庁舎壁面の太陽光発電設備のほか、滝川市内の公共施設（北海道滝川高等学校、札幌地方検察庁滝川支部）に設置されている太陽光発電システムの発電量も集計し、滝川市公式ホームページ）において公表しています。また、平成 27 年度より滝川第三小学校に設置した太陽光発電も稼動開始します。

 インターネットで「滝川 公共施設 太陽光発電」と検索してみてください。

各施設における発電量について

i) 滝川市役所



- ・出力：5 kW
- ・角度：90°
- ・年間発電量：3,809.1kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 12 月

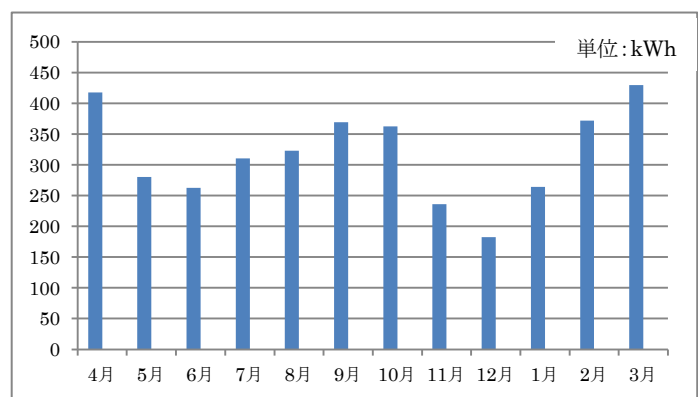


図 2 市役所庁舎における太陽光発電実績

ii) 北海道滝川高等学校



- ・出力：20kW
- ・角度：50°
- ・年間発電量：23,312.6kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 12 月

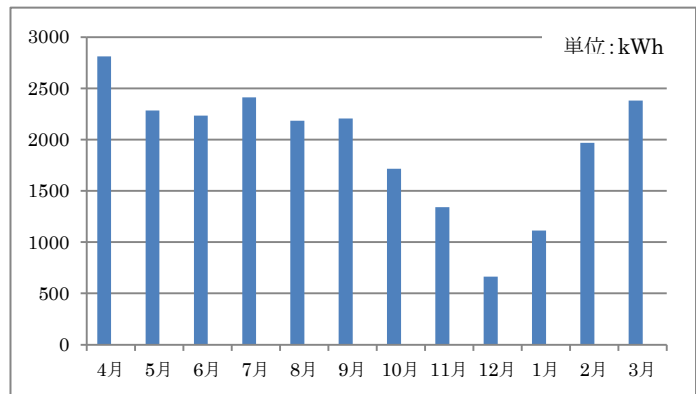


図 3 滝川高校における太陽光発電実績

iii) 札幌地方検察庁滝川支部



- ・出力：5kW
- ・角度：45°
- ・年間発電量：6,050.4kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 7 月

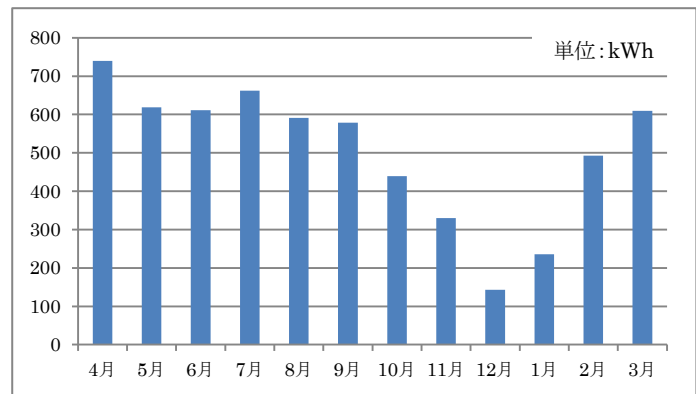


図 4 札幌地方検察庁滝川支部における太陽光発電実績

iv) 滝川第三小学校



- ・出力：10kW
- ・角度：90°
- ・年間発電量： - kWh
- ・設置年月日：平成 27 年 3 月

※平成 27 年度～稼働予定

(3) 農・山・川 (ノー・ザン・リバー) 物語

1 平成 26 年度における数値目標の達成状況について

☆H26 年度までの状況

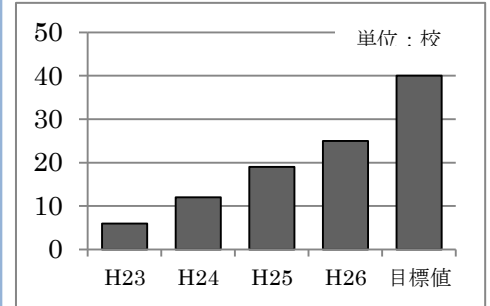
農業体験授業（事業）実施校数

目標値（平成 23 年度～27 年度累計） 40 校

実績値（平成 26 年度累計） 26 校

○平成 26 年度の実施校 7 校（順不同）

滝川第一小学校、滝川第二小学校、西小学校、江部乙小学校
東小学校、滝川西高等学校、國學院大學北海道短期大学部



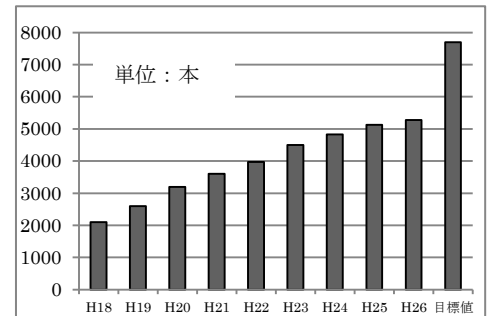
農業体験授業（事業）実施校数(累計)

石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数

目標値（平成 18～27 年度累計） 7,700 本

実績値（平成 26 年度末累計） 5,380 本

（うち平成 26 年度 250 本/年）



石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数(累計)

※平成 18 年度の数値については「北海道植樹祭」における植樹本数の数値を使用



農業体験授業については、市内 6 小学校のうち 5 校が実施しています。植樹については、石狩川ルネサンスの森の面積約 90 % が完了しています。また、植樹後の森のメンテナンス作業にも力を入れています。

2 平成 26 年度の主な取組等について

(1) 地域農業の振興と住民等との交流促進のための取組

① ふれ愛の里 秋の味覚まつり

- ・開催日 平成 26 年 9 月 21 日（日）
- ・場 所 滝川ふれ愛の里
- ・内 容 手打ちそば販売、あんぱん配布、野菜のつま放題、各種物販



② 農業体験の推進

i 心と体を育てる体験型食育教室

地域農業者との連携を図りながら、農業体験等を通じて、次世代を担う子どもや学生たちに食や環境の大切さについて理解を深めてもらうためのプログラムを実施しました。

7)食育ファーム

- ・開 催 日：平成 26 年 8 月 6 日（水）～ 8 日（金）
- ・対 象：小学 5、6 年生
- ・内 容：二泊三日の宿泊農業体験農家宿泊しながらの農業体験、ふれ愛の里でのそば打ちやはるゆたかを使用したパンづくりなどの加工体験の実施。
- ・参加人数：18 名

4) 「滝川おもしろ食育塾」の取組

■思春期食育教室

- ・対 象：滝川西高等学校 3 年生（フードデザインコース B コース）
- ・参加人数：69 名（全 5 回、14 名／回）
- ・内 容：いもやかぼちゃなどの畑作体験（畑おこし、種まき、講義、収穫、調理・加工実習）

■青年期食育教室

- ・対 象：國學院大学北海道短期大学部初等教育学科 2 学年
- ・参加人数：21 名
- ・内 容：稲作体験（田植え、草取り、生き物観察、稲刈り、はざかけ、脱穀）調理実習（収穫祭、もちつき、おにぎりや雑煮づくり） など（全 5 回、参加人数計：94 名）

ii グリーンツーリズムに係る取組

7)「そらちDEい〜ね」を介した受入事業

- ・時 期：平成 26 年 5 月 25 日～平成 27 年 1 月 23 日
- ・人 数：16 校＋1 団体 176 名（前年度 21 校 218 名）
- ・農 家：延べ 41 戸（前年度 59 戸）

4)國學院久我山中学校（東京都）の受入事業

- ・時 期 男子～平成 26 年 9 月 1 日～2 日（1 日半の日帰り農業体験）
女子～平成 26 年 9 月 3 日～4 日（1 日半の日帰り農業体験）
- ・人 数 27 名（男子 8 名、女子 19 名）
- ・農 家 7 戸

※これらの受入のほか、個別農家単位での受入等の取組も行われています。

(2) 自然とのふれあいへの取組

「たきかわ環境フォーラム」による取組

■エコカフェの開催（全 6 回）

※テーマに沿って講師を中心に身近な環境問題について語り合う集いです。

事 業 名	講 師
①丸加高原雪中キャンプ 1 4 連泊体験談	石田礼さん (北海道新聞記者)
②コガネムシに魅せられて	多田茂男さん (北海道滝川高校教諭)
③川がつなぐ生き物の輪-サケ・ヤマメから森のキノコまで	長坂有さん (北海道立総合研究機構研究員)
④ぼくは自然写真家	大原尚之さん (写真家)

⑤東滝川コウモリ研究報告会	出羽寛さん (オサラッペ・コウモリ研究所)
	平川浩文さん (独) 森林総研北海道支所)
	コウモリ研究チーム (北海道滝川高校理数科)
⑥滝川高校SSHの挑戦	長澤秀治さん (北海道滝川高校教諭)

■「身近な水環境の全国一斉調査」への参加

滝川市南東部の石狩川水系空知川においてCOD（化学的酸素要求量）値を測定

■「フットパスの現状と未来」の開催

■「丸加高原で南極気分 雪中サバイバルセミナー」の開催

(3)豊かな森づくりのための取組

①市民植樹祭

- ・開催日：平成26年6月15日(日)
- ・植樹場所：丸加高原
- ・参加者数：100人
- ・植樹本数：250本

(4)川との共生に向けた取組

「NPO まち・川づくりサポートセンター」の取組

■石狩川クリーンアップ作戦（環境保全活動）

開催日：平成26年5月25日

参加人数：100人

内 容：石狩川及びラウネ川の清掃活動



■みんとち自然体験楽校（みんとち：アイヌ語でかっぱの意）

内 容：滝川市の子供たちが石狩川や身近な自然環境に親しみ様々な体験活動を通して、環境問題に気づいたり環境保全への関心を高めたりすることをねらいとしています。併せて、活動を通して豊かな人間性や感性を育むこともねらいとしています。春夏秋冬の季節の変化に応じた内容を計画し実施しました。

① 春コース（ねらい：水の大切さを学ぶ）

開催日：平成26年6月21日（土）

参加人数：2人

内 容：プロジェクトWET※1によるプログラムで地球上の水と陸の割合を調べたり、滝川地区地域防災施設の前庭でネイチャーゲームを通して、自然の不思議さ驚異・動植物の生態を学びました。



※1 プロジェクトWET (Water Education for Teachers) とは...

水や水資源に対する認識・知識・理解を深め、責任感を促すことを目標として開発された、「水」に関する教育プログラムのことをいう。「社会」や「理科」などをはじめとした様々な教科に応用ができるといったことや、グループワークを通じ、意見調整能力や発表能力、リーダーシップなどの能力を高めることができる。

② 夏コース（ねらい：かっぱになって川を体験する）

開催日：平成26年8月2日（土）～8月3日（日）

参加人数：13人

内容：Eボートを利用した川下り体験や川流れ体験、水生生物調査などを実施しました。また、防災体験キャンプを行い、避難所の疑似体験、非常食を利用した調理などを学びました。翌日は、くらし支援課高校生ボランティア「エコ部!」による流木を生かした創作活動及び体験したことを自由研究にまとめました。



③ 秋コース（ねらい：川や森からの恵みを体験する）

開催日：平成26年10月4日

参加人数：18人

内容：河川敷の草（外来種のセイタカアワダチソウ）を使った草木染体験や夏のコースで拾った石で石ころアートなど、自然物を使った創作活動を実施しました。



④ 冬コース（ねらい：豊かな冬を体験する）

開催日：平成27年2月7日

参加人数：14人

内容：滝川地区地域防災施設前庭及び石狩川河畔の雪原をスノーシューを履いて探索し、冬の自然観察や石狩川の観察を行いました。また、雪を活用した暮らしを学ぶため、踏み固めた雪を切り出してイグルーづくりを体験しました。



民間団体の活動のピックアップについて

「滝川おもしろ食育塾」、「NPO法人まち・川づくりサポートセンター」、「たきかわ環境フォーラム」は、市内で活動する民間団体として、それぞれユニークな取組を展開されており、ここで特に取り上げさせていただきました。それぞれの団体につきましては、たきかわエコネット(P16 参照)にも登録されていますので、そちらもご覧ください。

なお、民間団体の取組については、今後も積極的にピックアップしていきたいと考えていますので、まずは「たきかわエコネット」へのご登録をお願いします。

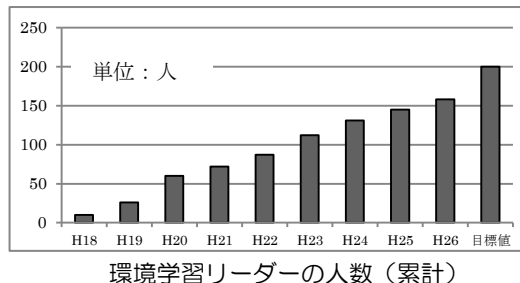
(4) 人の環 (わ) づくり 物語

1 平成 26 年度における数値目標の達成状況について

環境学習リーダーの人数

目標値 (平成 18 年度～27 年度累計)	200 人
実績値 (平成 26 年度累計)	158 人
(うち H26 年度 13 人/年)	

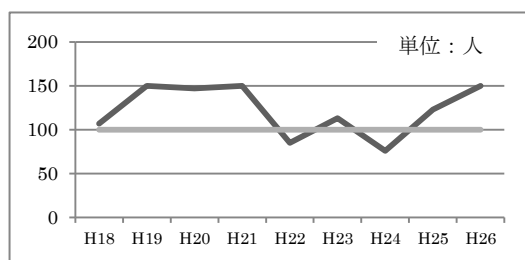
☆平成 26 年度までの状況



環境市民大会※の参加者数

目標値	100 人/回
実績値 (平成 26 年度)	150 人/回

※環境市民大会は環境に関する市民からの意見等を聴取する場として市が、毎年度、開催することとしています。



環境関連イベントにおける参加者の平均評価点

目標値	85 点/年平均
実績値 (平成 26 年度)	89.6 点/年平均



環境学習リーダー養成講座の新しい取り組みとして、高校生ボランティアを中心としたエコ部！をスタートするなど環境教育の推進に努めました。

2 平成 26 年度の主な取組等について

(1) ゲームで学ぶ！わくわくエネルギー教室！

全道規模で出前授業を実施している「公益財団法人地球温暖化ふせぎ隊」から講師を招き、子どもたちに環境を大切に想う心を持ってもらうための出前授業を開催しました。

◆対象及び参加者数

- ①西地区児童センター (33 名)
- ②中地区児童センター (25 名)



◆内 容

①エコミッケ

模造紙に描かれたイラストからエネルギーのもったいない箇所を探してもらい、エネルギーの大切さを知ってもらいました。

②南の島体験ゲーム

普段の生活の様々な行動が書かれたスゴロクを用いて、地球温暖化と深い繋がりのある海面上昇について知ってもらいました。

(2)なるほど！お天気環境セミナーの開催について

◆内 容

【第1部】

演 題：温暖化でどうなる！？滝川！

講 師：気象予報士 菅井 貴子 氏

内 容：UHB「U型L I V E」の気象予報士のほか防災士等としても活躍中の菅井貴子さんを講師として、地球温暖化の移り変わりや滝川市の地域環境についてお話しをいただきました。



【第2部】

演 題：高校生と考える自然環境

発表団体：滝川高校（スーパーサイエンスハイスクール）

滝川市内高校生ボランティアチーム“エコ部！”

内 容：環境保全に関する活動を行う市内の高校生による事例発表会を実施しました。



◆参加人数：150 名

(3) 環境学習リーダー養成講座の開催

毎年度、滝川市民を対象として、勉強会及び施設見学会等の内容で当該事業を実施していましたが、本年度より、市内3高校（滝川、滝川西、滝川工業）より有志を募り、滝川市内高校生ボランティアチーム“エコ部！”を結成し、年間を通して高校生をリーダーとして育成し、高校生自らが小学生に教えることで環境の知識を深めることができる枠組みを新たに構築しました。

◆環境学習リーダー（エコ部！）の人数

13 名（滝川高校：2 名、滝川西高校：4 名、滝川工業高校：7 名）

◆活動回数

全 30 回／イベント含む

◆夏期イベント

東滝川にある「中空知衛生施設組合リサイクルクリーン」と歌志内にある「中・北空知広域連合エネクリーン」の見学会、丸加山のフットパス体験のほか、丸加山で採取した木材を使用したボールペンやコースター等のものづくり体験を実施しました。

・参加者：296 名（8 日間累計）



◆冬期イベント

滝川市のごみの分別やリサイクルについて学習してもらうため、カードを利用したアクティビティ（リサイクルじゃんけん）、丸加山の雪を使った自然体験のほか、ペットボトルのキャップやダンボールを使ったリサイクル工作を実施しました。

・参加者：195名（4日間累計）



◆活動報告会

平成26年滝川市環境市民大会の第2部（高校生と考える自然環境）で、エコ部！の夏期イベントの活動報告を行いました。

(4)たきかわエコネットの運営実績

- ・情報発信数：17件
- ・団体登録数：1団体（江部乙丘陵地のファンクラブ）
計8団体

・たきかわエコネット登録団体との協働イベントの開催

「かまどから作ろう！地産地消の昼食づくり」

開催日：平成27年3月8日（日）10:00～14:00

参加人数：24名

内容：たきかわエコネットに登録する団体の周知を図るほか、市民に対して広く地域環境について楽しく学んでもらうきっかけづくりを行うことを目的として、地元で採れた食材を利用した地産地消の調理実習を実施しました。



たきかわエコネット登録団体：8団体(平成27年3月末現在)

団体名	活動内容	団体名	活動内容
「緑とエコ」サポーターネット	当会は平成13年6月10日に行われた「石狩川ルネサンスの森」の創設時に、森林の持つ多様な機能の育成と緑によるゆとりと潤いのある環境の整備を図り、循環型社会づくりを進めることを目的として設立しました。 これまでの主な活動は、毎年行われる「石狩川ルネサンスの森」整備事業であり、その他には、石狩川の水源のひとつである南富良野町にあるかなやま湖で「水源の森創造交流会」などを行っています。	日本野鳥の会滝川支部	滝川市を中心に空知管内でバードウォッチングをとおして自然保護活動を行っています。石狩川と空知川の2大河川が流れる空知には広大な河川敷地と河畔林があり、草原や森林を好む鳥たちの重要な繁殖地となっています。 また、河川改修でできた三日月湖も多く残っていて、渡り鳥たちが旅の途中で羽を休め繁殖地や越冬地に向かいます。そんな野鳥たちの観察記録を蓄積し、鳥たちの生息環境の保全活動をしています。
江部乙丘陵地のファンクラブ	江部乙丘陵地は農村部に珍しいほどの豊かな自然を生み育ててきた土地です。 私たちは、この地に多くある魅力を道内はもとより日本全国へ発信するため、フットパスや自然観察会を軸とした地域密着型の環境への取り組みを行っています。 私たちの取り組みが、地域の活性化に少しでも役立てば幸いです。	たきかわ環境フォーラム	「森のかがく活動センター」を本拠にする市民グループ「たきかわ環境フォーラム」は、ひとつのキーワードを掲げて活動しています。それは「エコアップ!」。 私たちが暮らす地域の環境を見つめ直しながら、ちょっとずつ「自然の豊かさ」を高めていこう、という願いを込めました。実現のために情報を集めたり、その情報を再発信したりする役目も果たせたらと思っています。
滝川消費者協会	本会は環境保全への取り組みはもちろんのこと、消費生活の安定向上及び消費の合理化普及を目指すため、各種イベントを開催し、会員相互の親睦並びに一般消費者とのふれあいを目的に事業を行っています。	滝川おもしろ食育塾	滝川市内の未成年への農業体験を主軸とする食育教育の企画、現場活動を行っています。現在、國學院短大、滝川西高等学校家庭科で実施中。今年度は小学生の夏休み教育ファームを実践致します。 中空知で生まれ育った子供たちが、命を繋ぐ食と人との関わりを五感で感じることや、故郷の農村に誇りと持っていただくことなど、その後に良い影響を受けてもらう事を目標に活動しています。
手紬染織工房たきかわ	滝川で飼育されている羊の毛を主に使い、身近にある草木で自然の色を染め、糸を作って織物や編み物など、日常的に使用できる作品を作り、販売することで羊毛の暖かさや、自然の色の素晴らしさを知ってもらうことを目的として活動しています。	NPO法人 まち・川づくりサポートセンター	石狩川再生の森整備、ゴミ拾い活動、水防水難訓練支援(レスキュー訓練、舟漕ぎ大会)、たきかわ子ども水辺協議会の活動、指導者の育成(RAC、CONE、プロジェクトWET・ワイルド・ラーニングツリーなど)

環境都市宣言

わたしたちのまち滝川は、石狩川と空知川に育まれた豊かな大地と自然の恵みを受けて、健康で文化的なまちとして発展してきました。

しかし、今、人々の営みは、豊かな自然や調和のとれた地球環境に大きな影響を与えています。

21世紀を迎え、わたしたちは、地域の優れた環境を再生し、美しい地球を未来に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに努めることを誓います。

平成15年1月1日

滝 川 市



たきかわ「環のまち」物語

— 年次報告書 —

(平成 26 年度評価版)

平成 27 年 月 日作成

〒073-8686

北海道滝川市大町 1 丁目 2 番 1 5 号

滝川市 市民生活部くらし支援課（環境衛生係）

電話 0125-28-8013（直通）

FAX 0125-24-0154

e-mail kurasi@city.takikawa.hokkaido.jp